

2 年次通年・必修

2 単位・60 時間

---

---

**【概要・目標】**

成人において長期間の治療・管理が必要とされる慢性疾患の基礎的病態について、臓器別に病因、症状、検査、治療、予後の特徴を理解する。また、身体の回復機序や疾病改善のためのライフスタイル修正策を学び、それらを踏まえた生活指導と看護上の問題解決能力を習得する。

---

---

**【授業内容のスケジュール】**

(担当)

(水越、橋爪)

- 1) ～3) 呼吸器疾患  
(総論) 症候学、診断学 (各論) 呼吸器感染症、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺疾患、肺腫瘍、肺循環疾患、換気異常、呼吸不全
  - 4) ～9) 循環器疾患  
(総論) 症候学、診断学 (各論) 心不全、不整脈、虚血性心疾患、弁膜症、心筋疾患、先天性心疾患、血管疾患、血圧異常
  - 10) ～13) 消化器疾患  
(総論) 症候学、診断学 (各論) 食道疾患、胃十二指腸疾患、大腸疾患、肝胆膵疾患
  - 14) ～15) 代謝性疾患  
(総論) 症候学、診断学 (各論) 糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症
  - 16) ～17) 内分泌疾患  
(総論) 症候学、診断学 (各論) 視床下部下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患
  - 18) ～20) 腎疾患  
(総論) 症候学、診断学 (各論) 腎不全、慢性腎臓病、糸球体腎炎、続発性腎疾患
  - 21) ～23) 血液疾患  
(総論) 症候学、診断学 (各論) 赤血球の疾患、白血球の疾患、出血性疾患
  - 24) ～26) 膠原病・アレルギー  
(総論) 症候学、診断学 (各論) 関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎/皮膚筋炎、強皮症、血管炎、シェーグレン症候群、薬剤アレルギー、アナフィラキシー、花粉症
  - 27) ～28) 感染症  
(総論) 症候学、診断学 (各論) 細菌性疾患、真菌性疾患、ウイルス性疾患
  - 29) ～30) 神経疾患  
(総論) 症候学、診断学 (各論) 脱髄性疾患、神経筋接合部疾患、筋疾患、神経系感染症
- 

**【評価】**

筆記試験 (80%)、授業への参加 (15%)、レポート (5%)

---

**【教科書】**

浅野嘉延、吉山直樹 編「看護のための臨床病態学」南山堂

---

**【推薦参考図書】**

系統看護学講座「成人看護学」医学書院

新体系看護学全書「疾病の成り立ちと回復の促進」メジカルフレンド社